

平成19年10月31日

従業員各位

株式会社 徳 ・株式会社傳六  
ノリックス有限会社・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今月は徳本店で5S委員会主催の大掃除大会を実施しました。調理担当、事務担当、配送担当がそれぞれ持ち場を決めて綿密に計画を立て、清掃と整頓を中心に普段できない場所も徹底的に磨きました。使わなくなった食器や備品、不要の書類など会社の垢を全員で落とすことができ、掃除のあとは会社が風呂上りの状態になったように思いました。この大掃除でお店がきれいになり仕事がやりやすくなったことはこのお店で働くもの全員が実感できたと思います。11月には各支店も実施いたします。どうかよろしく願いいたします。さて、若い時（今も若いですが20歳前後の頃です）私は親が営む仕出し業を手伝うのが嫌でしょうがありませんでした。とても遊びたい盛りで日曜日は忙しいし朝は早いし、配達に行ったらしょっちゅう怒られるし、小さなボロボロの仕出し店とこの職業を恨んだこともありました。自分にはもっと適性のある、しなければならない仕事があると思った時期もありました。しかし親が毎朝4時に出てきて米を洗って炊飯釜のスイッチを押す姿、早い時間に市場に仕入れに行く姿を見ると自分が手伝わないといけないという使命感が生まれました。毎日、特に日曜日は食事をまったくとらず一日があっという間に過ぎていった記憶があります。大学を卒業後し本格的に仕事をするようになって新聞広告を打ちたくさんの注文をお客様からいただくようになりました。そのころから少しずつ仕事が楽しくなってきたような気がします。当然たくさんの失敗もしました。配達の遅れはしょっちゅうで異物混入、料理の一部が腐敗していたなど今思えば情けないものばかりです。しかしながら20代後半の記憶がほとんどないくらい必死に働きました。その頃があるから今があるのかなと実感しています。27歳の時に会社組織にしても労働条件の不備や人間関係で辞めて行った仲間もたくさんいます。しかし残った人たちは苦勞を苦勞と思わず不平不満を漏らすことなく頑張ってくれました。私どもの会社の現在の姿はそういった従業員と得意先をはじめとするお客様のおかげだと思います。本年度のグループスローガンである「一生懸命に熱意を持って働くこと」が自身の人生をすばらしいものに導いてくれることを実感しています。熱意を持って働くことはまさに人生の試練や逆境さえも克服することができる「万病に効く薬」のようなものです。その一生懸命さが自身の仕事を順調にし、すばらしいものの考え方や人格を自分のものにすることができます。熱意を持って仕事に取り組み、いつも明るく前向きな気持ちで懸命に働き続けることで私たちの人生は必ず豊かで実り多いものになると考え私自身も実践して行こうと思います。

草々

「私たちはお客様のために常に新しい事に挑戦し、食生活に新たな価値を創造し続けます」

すべては自分のために

すべてはお客様のために

すべては会社のために

すべては社会のために

来月も一緒にがんばりましょう

草々